

第二十一回 帝國議會 鑛業法案委員會會議錄（速記）第八回

明治三十八年一月二十八日午後一時三十七分開議
會議

出席委員左ノ如シ

伊藤傳右衛門君

神前修三君

波多野傳三郎君

荒谷持田

桂吉君

横山一平君

出席政府委員左ノ如シ

鑛山局長田中隆三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

一 鑛業法案

○委員長堀田連太郎君

夫デハ前回ニ引續キ、鑛業法案ノ委員會ヲ開キマス、御承

知ノ通「前回迄三鑛業法案第一條カラ、第百十九條迄假決議ヲシテアルノアリマス、

ガ、今日ハ逐條審議等ノ事ハ省イテ、全部ヲ通シテ議題ニ供シテ、假決議通ニ御異議

ノナイトコロハ、假決議通リト決定シ、其後熟考ノ末、御意見ノアルトコロダケヲ更ニ決

議ヲシテ、局ヲ結ビタイト思ヒマス——ソレデハ尙假決議中ニ一二修正ヲシテ、御賛同

ヲ仰ギタイ點ガアリマスカラ、ソレダケヲ申上ゲマス、第四章、鑛業警察ノ第七十一條鑛

業ニ關スル警察事務ノ上ニ「左ノ」ノ二字ヲ加ヘルコトニ決定ニナリマシテ、其時ハ「建

設物ノ保安ニ云々ト云フコトニナリマシタガ、少シ字句ノ不釣合ノ點セアリマスカラ、更ニ

斯ウ云ウコトニシテ御決定ヲ仰ギタイ、「一建設物及工作物ノ保安ニ生命及衛生ノ保

護、三危害ノ豫防其他公益ノ保護」斯ウナリマス

（異議ナシト呼フ者アリ）

○委員長堀田連太郎君 ソレカラ第二條中ニ「タンクスラン」ト「モリピテナム」ヲ加ヘル

ト云フコトニ付イテ、其文字ハ然ルベキ字ヲ選ンデ入レルト云フコトヲ、御委託ニナリマシ

タガ、ソレハスウ云フ字ヲ用井ルコトニ致シマシタ「タンクスラン」鑛ト云フノハ、普通重石

鑛ト稱セサシテ居リマスカラ、重石鑛ト致シマス、「モリピテナム」ハ水鉛鑛トシ、之ヲ「タンク

スラン」ニ挿入スルコトニシテ宜カラウト思ヒマス、ソレデ重石鑛ト水鉛鑛ノニッガ、新タニ

加ハルコトニナツタニ付イテハ、此探掘者ノ保護ニ付イテ、鑛業法案ノイヅレカノ條ニ、然

ルベク文章トシテ挿入スルト云フコトガ、御發議ニナラニ居ル、ソレハ一番末條ニ持テ來

テ、斯ウ云フコトニシテハ如何デスカ、是ハ但シ前年燐鑛トカ亞炭ナドヲ、第一條ニ捕

入サシタ時ニ作ラシタ、其例ニ依テ居リマス「明治三十七年十二月三十一日以前

ヨリ引續キ重石鑛又ハ水鉛鑛ヲ掘採スル者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ

其ノ鑛物掘採ノ特許ヲ出願スルトキハ其掘採區域ニ限リ第三十一條第三十三條

（會議

及鑛區ノ面積ニ關スル第九條ノ規定ニ拘ハラズ特許ヲ與フヘシ、前項ノ掘採者ニシテ

ニ拘ハラス其掘採ヲ繼續スルコトヲ得、第一項ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル區域ノ面積

五千坪未満ナル場合ニ於テハ其特許ハ五箇年ヲ經過シタルトキ消滅ス」斯ウ云ノ規定

ヲ加フルコトニシテハ如何デスカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○神前修三君 私ハ九十三條ニ付イテ、前回ドナタカ御發議ガアリマシタガ、此際私ハ

修正意見ヲ有ツテ居リマス、ソレハ行政裁判所ナドノ經驗ナドヲ見マスト、是非トモ修正

ヲシナケレバナラヌト考ヘマス、故ニ此第二項ヲ修正シ、更ニ一項ヲ加ヘタイト思ヒマス、

其修正ハ九十三條ノ第二項ニアリマスル「前項ノ裁決」トアルヲ「裁決中」トシテ、其間

ニ「土地」ノ使用又ハ收用ニ付」是ダケノ文字ヲ挿入シタイ、ソレカラ第二項トシテ「前項

ノ裁決中補償又ハ擔保ニ付不服アルモノハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得、但裁決ノ

通知書ヲ得タルトヨリ三十日ヲ經過シタルキハ此限ニアラス

○委員長堀田連太郎君 チヨヲト神前サンニ御尋シマスガ、唯今ノ御發議ニ前項ノ

裁決中補償金又ハ」ト云フヤウニ聽キ取リマシタガ、サウデハナイ「第一項ノ裁決中」ト云

フコトニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○神前修三君 仰ノ通、第一項ノ裁決中ニアリマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ唯今ノ御發議ニ別段御異議ガゴザイマセヌケレバ、

第九十三條ハ其通り……

○坂本金彌君 チヨヲト御待チヲ願ヒタイ、唯今ノ御發議ニ付イテ、モウ少シハヤキリ願

ヒタイ

（此間協議ス）

○神前修三君 唯今述ベマシタ、第三項ノ但書カラ以下ヲ取リマス、サウシテ更ニ九

十四條ノ「行政」ト云フ二字ヲ削ル、斯ウ云フ修正ニ致シタイ

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ諸君ノ御聽ノ通アリマス、別ニ御異議ガゴザイマセ

ネバ、第九十三條ト第四條ハ、今ノ通修正サレタモノト認メマス

○藤金作君 私ハ茲ニ於テチヨット意見ヲ述ベマス、四十九條ニ但書ヲ入レタモノト希望ヲ

有ツテ居リマス、四十九條ノ第二項ハ「出願人ハ前項ノ調査ニ要スル人夫及物品ヲ供

スヘシ」トアル、私ハ之ニ但書ヲ加ヘテ「但調査ノ結果違法ニ決シタルトキハ其費用ハ達

法者ニ負擔セシム」斯ウナラント、道理ガ合ハヌト思フ、願クハ贊成ヲ願ヒマス

○委員長堀田連太郎君 唯今藤君ノ御發議ニ贊成者ガゴザリマセヌガ……

○藤金作君 贊成者ガナケレバ……

○神前修三君 ドナタモ御發議ガアリマセヌヤウデスカラ、私ハ第五條ヲ元ノ政府案ニ

復活スル意見ヲ提出シタイ

○委員長堀田連太郎君 唯今神前君ヨリ第五條ノ削除ト云フコトヲ、假決議デハ

決定シテアリマスガ、之ヲ原案ニ復活シヤウト云フ御意見が出テ居リマス
○坂本金彌君 ドウモ委員會ノ牕面カラ云ヅテ、甚ダ怪シカラニ事ダト私ハ思フ、併シ
私ハ自説デスカラ、是ハ忍ニテ贊成ヲ致シマスガ、一旦委員會テ決定シテ置イテ、他ノ黨
派デドウダト云フノデ、又ドウカスルト云フコトニナルハ、甚ダ面白クナイ、例ヲ貽スダラ思
フ、併シ私ハ是ニ就イテハ元來原案贊成者デスカラ、贊成ハ致シマスケレドモ、成ベクサウ
云フ例ハ殘シタクナイ

○鹿島秀暨君 神前サンノ原案復活說が出来シタガ、唯復活ト云フダケデモ先刻モ、
私希望ヲ述ベテ置イタノデスガ、神前サンノ原案ニ復活ナサルトコロノ理由ヲ伺ツテ、明カニ
シテ置キタイト思フ、ソレカラ又反駁スル意見ガアレバ、假借ナク反駁スル積リデアリマス
○神前修二君 私ハ此第五條ヲ復活致シマスル理由ヲ述ベヨト云フ御請求デゴザイマ
スカラ、聊カ理由ヲ述ペマセウ、此第五條ヲ取リマシタル時ニハ、所謂鑛業權ヲ外國人ニ
與ヘルト云フ事柄ニナルノデゴザイマス、私ハ此處テ此鑛業權モ外國人ニ與ヘルト云フコ
トヲ致シマスノハ、甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、ト申シマスモノハ、此我邦ノ協定稅率ノ
出來マシタ當時、各國ガ此協定稅率ノ際ニ、我邦ニ申込ミマシタ事柄ヲ、疾ケ承知シテ
居リマス、日本ハ未ダ土地ノ所有權モ吾々ニ譲ラズ、又鑛業權モ譲ラヌカラ、是非此ノ
協定稅率デナクテハ、同意スルコトハ出來ヌト云フコトヲ、各國異口同音ノ如ク言ハレタ
ト云フコトハ、當時ヨリ記憶シテ居リマス、然ルニ今我邦ハ鑛業權ヲ與ヘルノニ、政府ガ
原案トシテハ、マダ與ヘル原案ヲ出シマセヌ、今日ニ當ツテ、議會テ單純ニ之ヲ修正シテ、
鑛業權ヲ與ヘルト云フガ如キ事ニ致スノハ、甚ダ外交上ニ付イテモ面白クナイカ知ラヌト
考ヘマス、又今日此鑛業權ヲ早ク與ヘネバナラスト云フコトニ、迫ツタ問題アモナカラウト
存シマス、旁ミ此五條ヲ復活シテ、政府案ノ如クニ致シタイト云フ考ヲ、抱イテ居ルノデ
ゴザイマス

○波多野傳三郎君 私ハ是ハ削除スルコトヲ希望致シマ

ス、唯今神前君が復活スルト云フコトニ付イテ、理由ヲ述ベラレタガ故ニ、私モ一應削除
スルコトヲ希望スル所以ヲ述ベテ置カウト思ヒマス、丁度今神前君が述ベラル、如キ事が
アルカラ、私ハ削除シタイト思フノデアリマス、實ニ此戰時財政ノタメニ、零碎ナル租稅マ
デ、或ハ増シ或ハ新ニ課スルコトヲ考ヘテモ、鑛業法ヲ吾々ガ協賛スルト云フ様デアリマスルガ、戰後ニ至リマシテ
モ、此戰後ノ財政政策ヲ行フ如キ姑息ノ事ヲアリヤリ居リマスルト云フト、又零碎ナル租稅
ヲ増シ、或ハ新ニ課スルト云フコトヲセネバナラヌト云フコトガアリハセヌカ、左様ナルコト
ヲ豫メ防ゲト云フコトヲ考ヘテモ、鑛業法ヲ吾々ガ協賛スルト云フ場合ニ、吾ヨリ進シテ
國人ニモ鑛業權ヲ與フル如キコトハ、スペキコトデアルト思ヒマス、現在行ハレテ居リマス
ル各國トノ條約ハ、明治二十一年カラ實施セラレマシテ、十二箇年ノ後ニハ、之ハ盡キ
ナリト云フコトヲ以テ、我ヨリ胸襟ヲ披イテ、條約各國ニ相談シタラ、強チ十二箇年
ノ條約ノ期間ガ盡キビトモ、協定稅率ノ如キハ、我目的ヲ達スルコトモ、敢テ難キコトデ
ハナカシテ、鑛業法全體ヲ協賛スル場合ニ、我ヨリ與ヘテ置クコトハ決シテ憂フベ
コトデハナクシテ、鑛業法全體ヲ協賛スル場合ニ、我ヨリ與ヘテ置クコトハ決シテ憂フベ

キコトデハナイ、又一方カラ考ヘレバ、我國民ハ支那並ニ朝鮮ニ對シテノ經營トシテハ、彼
國ノ鑛業權ヲ我ニ收メルト云フコトハ固ヨリ希望シテ居ル、人ノ物ハ取ルガ、我物ハ人ニ
與フルコトヲセヌト云フ如キ、ケチナ了簡ヲ以テ、此帝國日本ガ各國ノ間ニ立ツテ往ク
コトハ——我目的ヲ達スルコトハ、如何デアラウカト思ハレマス、此點カラ云ヅテモ、之ハ
シマシテモ、私ハ之ヲ削除スルガ必要デアルト思ヒマス、財政當局者ノ力如何ト云フ
コトモ、一つハアリマセウケレドモ、我此戰時ニ當ツテ、兩度ノ外債募集ノ有様ハ如何デア
リマスカ、六分ト云フ高イ利子ヲ拂ヅテ、手取りハ九十二圓カ八十八圓ト云フヤウナ、誠
ニ抵イ金デナケレバ、我ニ收ムルコトガ出來ナイ、實ニ外資輸入ト云フコトハ、外債ト云フ
形ヲ以テ、外資ヲ輸入スルコトセズシテ、外ニ外資ノ輸入ノ道ガアルナラバ、我國民ハ朝
野共ニ之ヲ希望シテ居ルト云フ有様デアル、其時ニ方ツテ、此第五條ヲ削除シテ置イタ
ナラバ、蓋幾分カ外資輸入ノ目的ヲ我ヨリ求メズシテ、彼ヨリ來ツテ外資輸入ト云フコト
ハ、或ハ硬貨ヲ以テ來ルカ、或ハ物品ヲ以テ來ルカ分リマセヌガ、兎ニ角外資輸入ノ目
的ヲ達スルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、又斯様申シヌト、或ハ今迄許スガ宜イ、惡イ
ト云フコトモアリマセウケレドモ、實際ニ至ツテハ既ニ法人デアレバ、鑛業權ヲ與フルト云フ
コト、ナリマスト云フ、之ヲ個人ニ許スト云フ時ニ至ツテ、何ノ差支ガナインミナラズ、法
人ト云フモノデモ、我法律ヲ奉ズルノデアル、而シテ個人デモ我法律ヲ奉ズルモノデアツテ
見レバ、此解釋ノ點カラ云フテモ、何ノ差支ハナイ、是等ノ點ヲ考ヘマスト云フト、偶ニ鑛
業法ヲ協賛スル時ニ當ツテ、我ヨリ潤大ノ心ヨリ以テ、此第五條ヲ削除シテ、彼ノ來ルコト
ヲ迎ヘル時ノハ、素ヨリ相當ナコトデアルト思ヒマス、而モ當局者ノ一人タル農商務大臣
ハ、一躰此法律協賛ニ付イテハ、同意ヲ得ル必要ハナイ、我憲法ニ於テ政府ノ同意ヲ
得ベキモノハ、僅カ豫算ノ中ノ既定ノ歳出ダケハ、政府ノ同意ヲ要マス、又議院法アリ
事日程ノ變更ヲ要スル時ハ、政府ノ同意ヲ要スルコトデ、其外デハ同意ヲ要サヌト云フ
事デアルガ、其政府アモ舉國一致ノ實ヲ示スト云フコトカラ、同意ヲ求ムルト云フコトモ
ゴザイマセウ、既ニ假決定ニ場合ニ、農商務大臣清浦男爵ハ、斯ノ如ク決定ニナツテ
モ、政府ハ不同意ハナイト云フコトデアレバ、此第五條ハ削除シテ宜イコトデアルト思ヒ
マスカラ、私ハ假決定ノ如ク削除セラル、コトヲ、希望致シマス

○平岡浩太郎君 此問題ハ隨分大キナ問題デアツテ、先達モイロ／＼議論ノアツタ末
デゴザイマス、私ハ一言モ云ハナカッタ、所が此場合ニ於テ、一旦假定シタコロノ此五
條削除ノ問題ガ、先刻神前サンノ御話ニ依ルト、其反對ノ意見ガ出来テ、其理由ノ
デゴザイマス、中ニ或ハ外交上ニモ差支ヘル點ガアルト云フ御懸念モアツタヤウニ思フ、私ノ考テハ外交
上ニハ、却テ削除シタ方が宜クハナイカト思フ、ト云フノハ、目下我外交ノ當局者ハ、韓國
ナリ清國ニ向ツテ、鑛山開放ノ事ハ進ミツ、アルモノト考ヘル、他國ノ鑛山ハ開放スルト云
フ意見ヲ、今行ヒツ、アルトコロモ、我國アヘ之ヲ開放シナイト云フコトハ、甚ダ矛盾シタ話
デ、頗ル不都合デアルト思フ、又此戰爭ニ付イテハ、日本ハ少ナカラヌ費用ヲ使ヒ、大ナル
力ヲ致シテヤツテ居ル、戰後ノ經營ト云フモノハイヅレ此清韓兩國アタリノ鑛山迄モ、開
發シテ一ツ補フ道ヲ着ケナケレバナラスト云フ考ヲ有テ居ルカラ、速ニ兩國ノ鑛山ノ開放
コトデハナクシテ、鑛業法全體ヲ協賛スル場合ニ、我ヨリ與ヘテ置クコトハ決シテ憂フベ

ナイト云フノハ、頗ル矛盾シタ話ト思ヒマス、故ニ何所迄モ五條ハ削除シテ、而シテ尙清

韓兩國ノ鑛山モ開放スルト云フコトヲ、十分急ニヤダテ貰ヒタイト云フ考ガアリマスカラ、

削除説ヲ何所迄モ主張致シマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ大概議論王假決定ノ場合ニシテアリマス、尙唯今

モヒドク議論モアリマスカラ、決ヲ採ルコトニ致シマセウト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカラ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ第五條ハ削除スル、即チ假決定ノ通ニスルト云フ

ノト、ソレカラ原案ニ据置クトイコトノ一ツデアリマス、サウ致シマスト、假決定ヲ一旦サ

レマシタモノデアリマスカラ、此場合ハソレヲ議題ト見マシテ、今ノ本案原案ニ復スル

ト云フコトカラ、決ヲ採リマス、神前君ノ原案ノ假決定ニ修正ヲスル、即チ原案ニ復スル、

政府原案ニ復スルコトニ賛成ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者

少數

○委員長堀田連太郎君 少數ト認メマス、サウ致シマスト、之ハ假決定ノ通ニ決定サ

レタモノト認メマス

○伊藤傳右衛門君 此八十三條ノ試掘採掘ニ課稅ヲセヌト云フ修正ガ、假決議ニ

ナッテ居リマスガ、私ハ修正ニ反対シテ、原案ニ復活スルヤウニ希望致シマス

○金子元三郎君 唯今伊藤君ヨリ、假決議ヲ變更シテ原案ニ復活シタイト云フコトデ

アリマスガ、先刻第五條ノ時ニ、委員會ノ面目トシテ成ベク一旦極メタ事ハ、其儘ニ存

シテ置キタイ、勿論委員會ノ面目トシテ、サウナクテハナラヌデアラウ、然ルニ其委員會が

其面目ヲ顧ズシテ、ソレヲ變更スルト云フコトニ付イテハ、十分ノ理由ガアラウト思ヒマス

カラ、其理由ヲ伺ヒタ

○伊藤傳右衛門君 此假決議ヲ變更シテ、原案維持ノタメニ一言申シマスノハ、私が

假決議ノ際ニモ、原案賛成者ノ一人デゴザイシタ、元來試掘ト雖モ、假ノ權利ガゴザイ

マスカラ十錢位ノ課稅ヲスルハ相當ダラウト思フ、又採掘ニシテモ、總テノ增稅ヲスル際デ

ゴザイマスカラ、採掘モ三十錢位ノ稅ヲ掛ケルハ、當然ダラウト思ヒマス、又試掘ニ至リマ

シテハ、鑛業ノ發達ノ方カラ申シマシテモ、假決議ノ時分ニモ申シマシタ通、一人デ何百万

坪モ占メテ、何年デモ是ヲ一人デ占領シテ居リマスカラ、立派ナ鑛業ハ採掘者ガ之ヲヤル

コトが出來ナイ、十錢デモ試掘ニ課稅ヲシマスレバ、何ボカ稅モ掛ルカラ、立派ナ鑛業人ニ

讓ルト云フヤウナコトモ出來テ、鑛業モ發達シヤウト思ヒマスカラ、ドコ迄モ試掘ト採掘ニ

課稅ヲスルト云フコトハ、當然ダラウト思ヒマス、イロイロ此課稅ニ付イテ意見ヲ述ベマス

レバ長ウゴザイマスガ、簡単ニ述ベテ置キマス

○坂本金彌君 試掘ニ付イテハ能ク御意見ハ分リマシタガ、鑛區稅ニ付イテハ、此際ダ

カラ上ダルト云フヤウナ意見ノヤウニ承リマシタガ、サウ云フ御意見デスカ

○伊藤傳右衛門君 御答ヘ致シマスガ、試掘ニ十錢課稅ヲスルト、從テ採掘權モ總

テノ稅ガ、時局デモアルシ、上ダテ居リマスカラ、採掘ニ十錢ヲ掛ケマスレバ、試掘モ二十錢

掛ケルハ當然ダラウト思フ
○坂本金彌君 チヨット政府委員ニ御尋シタイノデスガ、此鑛區稅ニ付イテハ、非常特

別稅ハナイノデスカ

○政府委員田中隆三君 御答ヘ致シマスガ、非常特別稅ハヤハリ共ニゴザイマス、共ニゴザイマスガ、附ケ加ヘテチヨット御参考マデニ申上テ置キマスノハ、先日モ當政府委員カラ、一應説明ヲ致シマシテゴザイマスガ、此鑛業稅ノ事ハ、到底今日ノ現狀ニ満足スル譯ニナリマセヌノ、此鑛業法ノ實施ト共ニ、餘程注意シマスル積リテ、詰リ注意ノ

一部份トシテ、其擴張モ伴フノデゴザイマス、擴張ニ伴シテ經費等モ要シマスルノデゴザイマス、旁々此收入ヲモ此際増加スル必要アリト、當局者ニ於テ認メマシタノデアリマス

○坂本金彌君 私ハ此際試掘稅ニ付イテ議論ヲスルコトハ、甚ダ好ミマセヌカラ、強イテ議論ハシマセヌガ、試掘ニ付イテハ私モ多少議論ヲ有シテ居リマスガ、假決定ガ兎モ角モ

アリマスカラ、假決定ニ付イテハ贊成シマス、殊ニ鑛區稅ニ付イテハ、既ニ非常特別稅

デ取テ居ルノデスカラ、伊藤君ノ此際ト云フコトハ甚ダ分ラヌ、此際既ニ取テ居ルノデ

アル、ソレニ更ニ永久ニ鑛區稅ヲ上ダヤウト云フノデ、ソレニ過日モ御話シタ通、既ニ鑛業ニ付イテ政府ノ取テ居ル金ハ百万圓以上アル、而シテ鑛業警察鑛業行政ニ使テ

居ル金ハ、僅カ二十万位ノモノノデアル、餘程増シノ稅ニナシテ居ル、其上ニ又増スト云フ事ハ思ヒモ寄ラヌ 本法ニ増スト云フコトハ、最モ不贊成デアリマスカラ、私ハ假決定ヲ贊

成致シマス

○金子元三郎君 伊藤君ヨリ理由ヲ承リマシタガ、一向其理由ハ理由トスルニ足ラヌ

コトハ、既ニ此前ノ時ニ發議者ノ波多野君ナリ、其他各員カラ、十分ニ御述ベニナシタヤ

ウデ、ソレガ速記録ニ明ラカニ出テ居リマスカラ、今改メテ申ス必要ハナカラウト存シマスル、

此假決定ヲ維持スル理由ハ、別ニ申シマセヌ、最早此問題ハ既ニ大勢定ラテ居ルコトデ

アリマスカラ、早ク御決議ヲ願ヒマス、併セテ委員諸君ニ希望ヲ述ベテ置キマスノハ、此會ノ面目トシテ、假決定ノ通、御決議ニナランコトヲ希望シマス

○鹿島秀齊君 此原案ニ復活シヤウト云フ御意見ガ、伊藤サンカラ出テ居リマスガ、モ

ウシシ事情ヲ述ベテ置カヌト、窮スルノデ、已ムヲ得ズ私モ此八十三條ニ於テハ、既ニ當局者ニモモウ少シ理由ヲ聽キタイト云フノデ、非常ニ可否ニ躊躇シタ一人デアリマスガ、併

ナガラ此試掘十錢ヲ廢シ、採掘ノ方ハ之ヲ三十錢ニスルト云フ說が成立テ、サテ事由ハ甚ダ乏シイト云フノデアリマスケレドモ、今日ノ戰時ノ際ニ於テ、經費ガタマヌト云フコトガ一ツト、一ツハ唯今モ鑛山局長カラ辯明ガゴザイマシタ通、將來此業ヲ發達セシメ、十分ニ此新法案ヲ執行シテ、有效ノモノニセシメルニハ、經費ヲ要スル、斯ウ云フ二點ニ外ナラヌト思フノデス、就キマシテハ此際已ムヲ得ズ、此八十三條ノ原案復活ニ贊成シマシテ、而シテ大ニ責任アル希望ヲ述ベテ、責任アル答辯ヲ當局者カラ得ア、而シテ決定シタイト思フノデス、唯取ルモノダケ取テ、サウシテ何ニモシナイト云フヤウナコトハ、甚ダ不都合デ、今ノ政府委員カラ述ベラル通ノ、真ニ責任アル監督、並ニ此鑛業行政ヲ執行セラレマシタナラバ、イヅレ又ソレダケノ價モアラウト思フガ、是ハ開會以來隨分ヤカマシク諸君カラ問ヘ、政府委員モ屢々責任ヲ以テ明答セラレタコトアリマスガ、今日ノ算定ニ於テモ、既ニ其差違ヲ生シル、斯ウ云フコトデ、大ニ議院中ノ人ニ懇談モアツト云

フ事モ、承シテ居リマスルシ、此場合ニアリマスカラ、大ニ經濟ニ齋屬ラ生ゼシメテモナラヌ
譯、是ハ他ノ委員諸君カラモ、假決議ヲ神聖ナラシムルト云フ御議論ノ下ニ、甚ダ苦シイ
デアリマスケレドモ、八十二條ヲ復活致シマスル代リニハ、ソレダケノ明カナル責任ヲ盡
サレルコトヲ望ムニアリマス、サウシテ本員ノ見ルトコロデバ、五條ノ如キモノトハ違ツデ、
一度之ヲ實行シマシテモ、其事が舉ラナンダラ、何時モ自在ニ削ラレルモノニアル、此改
正ノ如キハ何テモナイ改正ニアリマスカラ、其時ハ躊躇ナク改正シテ、除クベキコトハ除イ
テ宜カラウト思ヒマス、其實行ガ舉ガルヤ否ヤラ試メスタメニ、今日ノ時局、經費ノ上ノ必
要ガアルト、斯ウ云ノデアルカラ、大ニ條件附テ之ヲ贊成スル、ソレデ一ツ政府委員ノ明
カナル責任アル答辯ヲ、此處得テ見タイ

○政府委員田中隆二君 御答致シマスガ、如何ニモ唯今テノ御質問ノ通リデゴザイマシ
テ、今日ノ行政ハ甚ダ不十分デアルト云フコトヲ、當局ニ於テハ始終唱ヘテ居ルノデゴザ

イマスケレドモ、豫算其他種々ノ關係ノタメニ、今日迄其目的ヲ達スルコトが出來マセ
ヌノデゴザイマシタ、今度幸ニ此法案が通過致シマスレバ、既ニ御協賛ヲ經テ居リマスル
トコロノ豫算ノ中カラシテ、此鑛山行政ノ方ニ、幾分ノヤハリ經費ヲ分配セラレルコトニ
ナラニ居ルノデゴザイマス、實ハソレハ鑛山監督署ノ經費トシテ、特ニ豫算ニ要求スル旨
デゴザイマシタケレドモヨロノく豫算編成ノ都合等ガゴザイマシテ、其運ヒニ致シ兼ネマシ
タノデ、兎モ角モ今度ノ臨時特別稅等ガゴザイマス、其特別稅等ノ徵收ノタメニ、徵稅
費ト云フモノガ、特ニ豫算ノ中ニ組入レテゴザイマス、其徵稅費ノ一部分ヲ監督署ノ方
ヘ廻シマシテ、詰リ其費用ダケガ、鑛山行政ノ方ニ補ヒニナルノデゴザイマス、尙臨時特
別稅が廢セラレマスル時ハ、無論ノ事、又ソレヨリ以前ニ於テヤハリ或ハ正面カラ鑛山
監督署ノ經費トシテ、諸君ノ御協賛ヲ煩ハスヤウナコトガアルカモ知ラヌト、思ヒマスガ、
兎モ角モ此條例實施ト共ニ、監督署ノ組織ニ多少ノ變更ヲ加ヘマス、人モ増シマスル、
經費モ増シマスル、固ヨリ其増シタダケ、或ハ増シタ以上、其實行ヲ收メマスル目的ヲ以
テ、ソレノ計畫ヲ立て、居リマスノデゴザイマスカラ、ドウバ一ツ御安心ノ上、此原案ニ
ハ御賛成アランコトヲ、希望致シマス

○坂本金彌君 チヨント田中君ニ御尋シタイノデスガ、若シ此鑛區稅ナリ、試掘稅ヲ、
新ニ賦課スルト云フ事ヲ——鑛區稅ヲ増ストカ、試掘稅ヲ新ニ賦課スルコトヲ致シマセ
ナシダナラバ、鑛山ニ對スル行政費ニ付イテハ、ヤハリ御増シニナルノデゴザイマスカラ、ソレ
デモ尙増スト云フ案ヲ出スト云フ御考ガアルノデゴザイマスカ、如何デスカ、ソレヲ一ツ伺
ヒマス

○政府委員田中隆二君 御答致シマスガ、別ニ之ヲ増セバ經費が殖ヘル、増サナケレ
バ經費が殖エナイト云フコトノ、ハツキリ極シタ譯ハゴザイマセヌ、當局トシテ、何處マデモ主
張シテ居ルノデゴザイマスガ、今日ノ此八十二條ハ、既ニ御協賛ニモナラニ居ル豫算ニ關
係致シマスノデ、其豫算ノ中ニハ、今申上ゲルヤウナ趣意が含シテ居リマスカラ、其説明ヲ
申上ゲタノデゴザイマス

(「決、々」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ大概議論モ盡キタヤウデアリマスガ、此箇條ハ大切
ナ箇條ア、假決議ノ際モ、餘程各員が御熱心ニ御討議ガアリマシタノデ、私モ箇人トシ

テノ說ハ、十分述べテ置キマシタカラ、更ニ述べマセヌ、但シ前說ハ取消シマセヌ、委員長
デアリマスカラ、可否同數ナル時ニ、自分ノ意志ヲ表明スル機會ガアリマス、ソレデハ採
決致シマス、第八十二條ノ假決議ニ付イテ決ヲ採リマス、假決議ノ反對、即チ原案ヲ
復活シヤウト云フノガ、伊藤君ノ發議デアリマス、伊藤君ノ發議ニ贊成ノ御方ハ手ヲ舉
ゲテ下サイ

舉手者 多數

○委員長堀田連太郎君 八人ニ七八人ニアリマス、即チ多數ヲ以テ原案ニ復活致シ
マス、ソレデハ尙申マスガ、唯今ハ八十二條が原案ニ復活シマシタ結果トシテ、第八十二條
ガ即チ變リマス、ソレハ試掘検査ニハ鑛區稅ヲ課セス、是が不用ニナリマスカラ、自然ノ結
果トシテ、是が取レマス、其他假決議ノ際ニ八十二條が假修正サレタ結果トシテ、變ツタ
場所ガアリマスガ、ソレハ悉ク原案ニ復活スルコトニナリマス、左様御承知ヲ……

○藤金作君 チヨット田中君ニ伺ヒマス、此九十六條ノ法文ニ據リマスルト鑛區外ヲ
採掘シタトキノ處分デゴザイマスガ、他人ノ鑛區ヲ掘ラレタコトニナラニテ居リマスカラ、若シサウナラニテ居ラヌコ
ル譯デアリマスカラ、其被害即チ他人ノ鑛區ヲ掘ラレタコトハ、掘ラレタ者カラ損害要償ヲ
請求シテ、其採掘シタダケノ代金ヲ交付スルコトニナラニテ居リマスカラ、若シサウナラニテ居ラヌコ
トニハ、法文ガ不備アゴザイマスカラ、或ハ但書ヲ入レタイト思フ、別ニ是ヲ處分スル法ガ
アレバ、此儘デ宜シウザイマス

○政府委員田中隆二君 御答致シマスガ、他人ノ鑛區ヲ掘採シタ、所謂俗ニ申シマ
ス盜掘致シマシタ時ハ、ヤハリ九十六條ニ依テ國家ノ制裁ハ九十六條ノ通リデアツ、
鑛物ヲ沒收スルト云フ場合ニモ、追徵スルコトニナリマスガ、尙此鑛區ノ採掘ヲ得
テ居ル人、所謂鑛業人其人ハ、民法ノ規定ニ從ツテ、損害賠償ノ要求ヲスル權利ヲ
無論有シテ居ル積アリマス、併シ損害ノ賠償デアリマスカラ、其鑛業ダケノ利益ヲ失
タダケデ、或ハ其鑛物採掘費ヲ引イテシマッタ利益ダケノ限度ニ於テ、損害ノ權利ヲ得
ルデアラウ、其意味ヲ以テ此法案が出來テ居ルノデアリマスノデ、尙法律ヲ書キマシタ
キノ、内輪評議コトヲ、一應參考ニ申シテ置キマス、或ハ其損害賠償ノ權利ヲ妨げナ
イト云フコトヲ、本案ノ中ニ書イテ置クが宜シトイ云フ說モゴザイマシタガ、ソレハ民法ノ
規定上明瞭ノコトデアルカラ却テ法律ノ軫裁上面白クナイ書方デ、即チ其意味ガ明瞭
デアルト云フ、サウ云フコトデ、法案ニ書イテゴザイマセヌ

○藤金作君 モウ一ツ御尋シマスガ、今ノ御答デアレバ、其盜掘サレタコロノ鑛主ニ、
訴訟法ニ依シテ損害賠償ヲスルコトガ出來ルト云フコトデアリマスケレドモ、私ノ考ニ依シ
テ、政府ノ意見ヲ聽イテ、或ハ修正說ヲ出スカ、政府委員ノ御意見ニ從ツテ決シヤウト思
ヒマス、此政府ノ國ノモノニ屬スルダケノモノハ、追徵スル、併シ外ニ權利ヲ得テ居ル鑛業
権者ガアツテ、其區域ヲ盜掘シタ場合ノモノガ發生シタ以上ハ、其者ニ直チニ與ヘテ宜イ
ダラウト思フ、私ハ斯ウ云フコトヲ書イテ、置イテモ、法文ガ却テ完備シテ宜カラウト思フ、
「代金ヲ追徴ス」ノ下ニ「但シ他人ノ鑛區ニ關スルモノハ其鑛業権者三代金ヲ交附ス」ト、斯
ウ書イタ方ガ宜シトイ思フ、ソレハ差支ガアリマスカラ、差支ヘル理由ガアレバ兎ニ角、差支
ヘル理由ガナケレバ、是ダケノコトヲ書加ヘテ置キタイト思ヒマス

○政府委員田中隆二君 此九十六條ハ、詰リ此前ノ方ノ三條ニアリマスガ「未ダ

掘採セサル鑛物(廢礦ヲ含ム)ハ國ノ所有トス「ト云フ檢束ガゴザイマスノデ、其國ノ所有タルトコロノ鑛物ノ犯則デモ^{シテ}盜ンダモノガアリマスレバ、其結果ハ九十六條ニ依^テテ沒有^シ」^{シテ}モ是ハ此通リ、ナケレバナラヌノアリマス、此國家ガ取^タッタ金ヲ、直^ク又他ノ探掘權者ノ方ニ渡^シテ遣^ル、斯^ウ云フコトハドウシテモ理窟ガ一貫致シマセヌト、探掘權者トシテ加害、所謂犯罪者ニ向^カテ損害賠償ノ要求ヲスルヨリ致^シ方ガナイト思ヒマス、尤モ此損害ヲ賠償スルニ致シマシテモ、其犯罪ノ取調中ハ私訴トシテ要求^シが出來ヤウト思^フ、手續モ至極簡便ナコトデ、其裁判所ニ盜掘ノ申立ヲスレバ、裁判所ハ損害ヲ直チニ判決スルコト、思ヘレマス

○藤金作君 ソレデハ此但書ヲ入レバ、差支ルト云フ理由ヲ未ダ御説明ニナラヌノデアリマスガ、ドウデズ起^テ、取ルベキ理由ガア^シテ、取^タタモノハ、其點ニアラウト思^フ

○政府委員田中隆二君 唯今御答ヲシマシタガ、詰リ國家ガ自分ノ或ハ第二條カラ起^テ、差支ガ起^ルト云ノハ、其點ニアラウト思^フ

○藤金作君 ツレハ他人ノ鑛區デナイトコロノ鑛區外ヲ取^タトキノ處分法^{アル}、鑛區ハ甲乙丙丁ト混雜シテロ^ク接續ヲシテ居ル他人ノ鑛區ニシタ場合ヲ、此處ニ但書ヲ現ハスノハ差支ナイト思^フ、國ノ用ニ屬スルモノハ、九十六案ノ本文ニモ、鑛區ヲ盜掘シタ場合ヲウタ^シアル……

○政府委員田中隆二君 今一應申上グマスガ、唯今申上グマシタ半面カラ申シマスレバ、詰リ鑛業人ノ許可ヲ^シ或人カラ損害ヲ受ケタカラ、其損害ノ賠償トシテ其代金ヲ與ヘルト云フ御趣旨^シト思ハレマスガ、其所謂損害ハ民法ノ規定ニ依^テ別ニ損害賠償ノ權利ガアル、其權利ヲ施行スレバソレ^シ宜イノデアリマスガ、國家ガ取^タタコロノ鑛物ヲ與ヘルカ國家ガ追徵シタコロノ賠償金ヲ、國家ガ鑛業權者ニ與ヘルト云フ必^シテ、其途ニ依レバ、宜シトイ云フ、斯^ウ云F意味^シアリマス

○平岡浩太郎君 今ノ藤君ノ質問ニ對シテ、政府ノ答辯ガアリマシタガ、是ハ私所能^シク知ラナイカラ、モウ一遍伺^シテ置キタイノハ、今ノ第三條ニ對スル處分法ハ、九十六條デ分^シタデスカ、現ニ盜掘サレタ場合デ、ソレヲ他ニ訴ヘル途ガアルカドウデスカ、何カ此鑛山ニ對スル……

○政府委員田中隆二君 御答致シマスガ、ソレハ直^ク損害賠償ヲ^シ私訴トシテ刑事裁判所ニ御申立ニナレバ宜シノデ……

○平岡浩太郎君 刑事ノ處分ハ法案ノ中ニアルノデスカ、鑛山ニ對スル……

○政府委員田中隆二君 鑛山ト書^シテハゴザイマセヌケレドモ、私訴^シテ總^シテノ犯罪ノ場合ト同ジヤウニナル、鑛山トハ書^シテゴザイマセヌケレドモ、損害ヲ犯罪ニ依^テテ受ケタ場合ハ、私訴ト云フモノ、要求^シ出來ル、損害賠償ノ要求^シ出來ルノデ、即チ鑛業人ハ其損害賠償ヲ申立^シテ、裁判所ハソレニ依^テ判決ヲシテ、損害賠償ノ申渡^シスルノデアリマス

○平岡浩太郎君 今一ツ聞^クテ置キタイノハ、現ニ此問題^シ私ノ鑛山ニ二回ア^シテ、少ナカラニ迷惑ヲ感シテ居ル問題^シアルガ、今ノ御話ニ依^ル損害ト云フモノハ、唯掘ラレ

タ石炭ナラ斤數ダケノ賠償ホカ出來ナイ、所ガコチラハ決シテ犯サヌモノト思^フテ、其境界八十間ダケ殘^シテ掘レバ宜イト思^フ鑛區^シ居ルト知ラズ五十間モ百間モヤ^シテ來タ、所ガ其ヤ^シテ來タダメニ其上モ下モ掘ラレナク、其損害ト云フモノハ、此石炭ガ一万圓モ^シ盗マレテ居ルケレドモ、コイシヲ豫防シテシマフト云フ損害ハ、非常ナ經營ヲ爲サナケレバナラヌ、石炭ノ如キ金屬鑛石見タヤウナ嵩ノナイヤ^シハ非常ア其盜掘サル、高モ又多ク、復舊ノ工事ニ付イテ非常ナモノニナルガ、是ダケノモノヲ別ニ設ケル工風ハナイノアリマスカ

○政府委員田中隆二君 御答ヲ致シマスガ、唯今御話ノヤウナモノハ、總テ損害賠償トシテ要求スルコト^シテ出来ルモノト私ハ認メマス、若モサウ云フ權利ヲ認メナイ裁判所ニ^シテ^シ鑛物ノ採^タ中ノ幾分ナモノモゴザイマセウシ、唯今御話ノヤウナ場合ニハ、或ハ採^タモノ以上ノ價格ニ臘ルコトモアラウト思ヒマス、又或場合ニ於テハ、設備ヲ命ゼシムルト云フコトモ出來ヤウト思^フ

○荒谷桂吉君 私ハチヨット意義ヲ、モウ少シ明ニシテ置キタイ、第一條ノ附屬ノ精鍊所ニ事^シアリマスガ、精鍊所ガ——鑛山ニ附屬スルモノガ、近所ニアルモノハ、大艸ニ云テ見ルト、或ハ東京ト大阪トカ懸ケ離レニ居ルモノハ、附屬ノ精鍊所ト見ルコトハ出来ナイト云フヤウニ、私ハ承^タタ思^シテ居リマスガ、今現ニ附屬ノ精鍊所トシテ、鑛山ト餘程懸ケ離レテ居ル——數十里モ隔タ^シテ居ル鑛山監督署ノ管轄ニ屬シテ居ル箇所モ、現ニアルト云フコトヲ承リマス、今後ニ於テモ、ソウ云フモノが出來テ來ヤウト思ヒマスガ、此法律ヲ實行スル場合ニモ、ヤハリ同一ノ御取扱ニナル積^シアリマスカ

○政府委員田中隆二君 此附屬ノ精鍊所ト申シマスノハ、固ヨリ多クノ場合ニ於テ、鑛山ノ附近ニ限ラレモノデアラウトハ認メテ居リマス、併ナガラ鑛山ノ事業ニ付イテハ、段々近頃ニナリマシテ、昔ト模様が變ハ^シテ來マシタ、仕事ノ性質上變^シテ參リマシタノミナラズ、或ハ仕事が擴張セラリニ從^テ、烟害其他種々ナ地方ニ關係等モゴザイマシテ、鑛山ト餘程距離ヲ遠ザケナケレバナラヌト云フヤウナコトモ起^テ來マス、時ト、場合ニ依^テテ附屬精鍊所ト認定シナケレバナラヌカ、ドウカト云フコトヲ^シ事實上カラ判断スルヨリ致方ナイト思ヒマス、今御尋^シ如キハ、今日ト雖モ隨分離レタ精鍊所モゴザイマス、併ナガラハ別^シアルカラ、一般ノ取扱ニスルカ、是モ事實ノ問題アリマセウガ、ドウ云フ風ニナルノデアリマスカ

○政府委員田中隆二君 御答ヲ致シマス、丁度唯今御尋^シ如ク、他人ノ鑛物ヲ買^フテ、自分ノ鑛物ト合セ^シテ精鍊シタ場合ニ、此稅務署ノ方デ、所謂普通ノ營業アルトシテ

テ、ソレニ營業稅ヲ課スルト云ファウナ問題が起リマシタノデ、取扱上甚ダ困難ヲ致シマシテ、大藏省ト種々協議ノ末、此法案ノ八十二條が出來マシタ、此法案ノ八十二條ニ依ラテ見マスルト、其鑛業權者ガ所謂其鑛業シテ、或ハ鑛業ノ附屬事業トシテ精鍊等ヲシテモ、營業稅ヲ課セナイ、鑛山ノ方デ鑛山ノ事業ト認メテ、所謂鑛業稅ヲ課スル、鑛業ノ範圍トシテ居ルモノハ營業稅ノ營業ノ方ノ範圍外トナル、斯ウ云フコトニナリマサタノデ、詰リ此方ノ範圍外ニ屬シタモノニ至ラテ、初メテ營業稅法ノ取扱ヲ受クル、其程度ハ實際ノ狀況ニ依ラテ判断スルヨリ、致方ハゴザイマセヌガ、詰リ鑛山ヲ主トスルモノニ付イテハ、或部分マテ他ノ鑛物ヲ買求メマシテ、精鍊シテモ、ヤハリ鑛山ノ部トナツテ差支ナイ積テゴザイマス

○平岡浩太郎君 今一つ伺シテ置キマスガ、此小野田邊ニ精鍊所ガアル、ア、云フモノハ他人ノ鑛物バカリ買ツテヤツテ居ルト思ヒマスガ、ソレハ鑛山ノ所在地ト云フモノガ、大變離レテ居リマスガ、ドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員田中隆二君 御答致シマス、ソレハ全ク鑛山ノ關係ヲ離レテ居ルモノニアリマス

○委員長堀田連太郎君 他ニ別ニ御異議ハゴザイマセヌカ——他ニ御發言モ御異議モナイトスレバ、全部假決定デ變ツタ分ハ假決定通、其他ハ原案通、斯ウ云フコトニ決シタモノト認メテ、此會ヲ閉チマスガ、念ノタメ尙伺シテ置キマス

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○藤金作君 尚念ノタメ申上ゲテ置キマス、此修正ノ結果、多少字句ノ不穩當ナトコロハ、委員長ニ御任セシテ置キマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ、是デ散會致シマス

午後二時四十八分散會